

公益財団法人 8020 推進財団

平成30年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： (1)高齢者歯科健康診査事業
(介護保険利用者・元気高齢者を対象とした口腔機能向上・維持に関する事業)
(2)地域包括ケアシステム講演会事業

2. 申請者名： 一般社団法人 東京都本所歯科医師会 会長 湯澤 伸好

3. 実施組織： 一般社団法人 東京都本所歯科医師会

4. 事業の概要：

(1)地域包括支援センター・福祉保健センターと連携し、口腔機能の重要性、維持・向上を目的とした啓蒙活動を行う。また福祉保健センター内併設のデイサービス利用者を対象に、個別の口腔内診査から相談・アドバイスなどを行う。

(2)ケアシステムに関連する多職種に向け、口腔機能・口腔ケアの知識とその重要性を理解してもらい、介護の現場で、改めて『口』に意識を持っていただく。

5. 事業の内容：

本人の意識向上に(1)の事業、ケアシステム関連職種の方に(2)の事業を行う。

(1)墨田区福祉保健センターにおける高齢者歯科健康診査事業は、併設するデイサービス利用者を対象に口腔内診査を行い、個別の相談・アドバイスを行った。さらに同センター利用者も含め、5日間を通し講演会形式で、口腔機能の重要性やその機能の維持・向上を目的とした講演・体操などを行った。

また地域包括支援センター(4ヶ所)の圏域ごとに、介護予防段階の高齢者へ、同様のプログラムで講演をする。

(2)墨田区みどりコミュニティセンターにて「地域で『口から食べる』を支えるために」と題し、講演を行った。要介護者を支える多職種に向け、口腔機能とその維持・向上に対し理解を深めてもらう。講演後にアンケートを回収し今後の参考とする。

6. 実施後の評価(今後の課題)：

(1)墨田区福祉保健センターにおける健診対象者は60名、講演聴講者は100名ほど。また4ヶ所の地域包括支援センターにおける聴講者は82名の参加があった。

(2)ケアシステム関連職種に向けての講演会は、医師(開業医師・病院医師)・歯科医師・薬剤師・看護師(病院看護師・訪問看護師)・介護関連(ケアマネージャー・訪問介護士等)・区役所職員らに参加してもらい、総勢69名の参加があった。

多職種に向けての講演会、アンケート(別途提出)結果からは、歯科に対する今まで以上の関心が得られたと思われる。

介護施設の利用者を対象に口腔機能健診を過去3年にわたり行ってきた。また居宅への訪問歯科診療・病院入院患者への訪問診療などを行ってきた先生からの意見を聴き取り、介護(看護)対象者の口腔が見落とされていることが多いという実態を知ることとなった。誤嚥を繰り返すようになって初めて『口』は?というのが実情かと感じられる。

「オーラルフレイル」という概念が提唱され、その予防が介護予防につながり健康寿命の延伸に寄与するという事が聞かれるようになったが、まだ多くの方が正しくオーラルフレイルを理解し、その予防や重要性を理解しているとは言い難い。

『食べる』という事が『生きる』ための大前提であることを改めて認識していただき、口腔機能、ひいては全身

状態の維持・向上を、本人のみならず、高齢者を支える関連職種全員の意識向上が大切と思われ、支援する側の人間を巻き込む必要性を大きく感じる。